

大学コンソーシアム富山 令和4年度「データサイエンスの実践」実施報告

<p>事業名</p>	<p>大学コンソーシアム富山 令和4年度単位互換開講科目 「データサイエンスの実践」</p>
<p>実施機関名</p>	<p>富山大学 栗本 猛（富山大学教養教育院教授）</p>
<p>趣旨・目的</p>	<p>データを利活用するにあたっては、統計、コンピュータを用いたデータ処理、プログラミング基礎等の知識と技術が重要になる。本授業では必修科目である「情報処理」で学んだ IT 技術をベースとして、それをさらに発展させたデータサイエンスの基礎技術を身につけることを目標とする。</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和4年9月5日（月）、9月6日（火）、9月7日（水）</p>
<p>開催場所</p>	<p>富山大学五福キャンパス</p>
<p>参加人数</p>	<p>学生18名 【内訳】・富山大学（14名） ・富山高等専門学校（4名）</p>
<p>事業内容</p>	<p>●第1日目（9/5） 第1回 データサイエンスの概念と表計算ソフトを用いたデータ分析-1（平均、標準偏差、ヒストグラム） 第2回 表計算ソフトを用いたデータ分析-2（散布図、相関係数、回帰直線）</p> <p>●第2日目（9/6） 第3回 データ操作のための技術とプログラミングの基礎 第4回 Rによるデータ分析-1（平均、標準偏差、ヒストグラム） 第5回 Rによるデータ分析-2（散布図、相関係数、回帰直線）</p> <p>●第3日目（9/7） 第6回 Rによるデータ分析-3（主成分分析、クラスター分析） 第7回 Pythonによるデータ分析-1（散布図、相関係数、ヒートマップ） 第8回 Pythonによるデータ分析-2（主成分分析、クラスター分析）</p>